

車笛

昨年一年間で最も売れたビジネス本は「もしドラ」である。正式名称は「もし高次野球の女子マネージャーがドラッグの『マネジメント』を読んだら」という、やや長めの書名だが200万部を突破し、ベストセラーになった。私が36歳で初めて管理監督者になったときの職位は係長であったが、私の名刺にはカタカナで『マネジャー』と記されていた。今、自動車業界では顧客から親しみやすいように『マネジャー』という呼称はあまり使わず、店長、副店長といった呼称を使っているケースが多いと思うが、外車を扱っているディーラーでは今でも『マネジャー』と言った呼称を使用しているケースも多いのではないだろうか。

早速だが『マネジメント』を日本語に訳すと何と言おうか。本語に訳すと何と言おうか。日本の社会に定着した外来語は数多くあるが、『マネジメント』という外来語は浸透度が高いカタカナ言葉のひとつではないだろうか。

日本の社会において、『マネジメント』という言葉がどのような使われ方をしているかという、タイムマネジメントは「時間管理」、ヘルスマネジメントは「健康管理」、リスクマネジメントは「危機管理」、「アセットマネジメント」は「資産管理」である。このような使い方をしていることから、『マネジメント』管理」と誤読されるケースが大半である。しかし辞書に引いてみると、そこには管理に加えて「経営」と「管理」は何か違うの

「親」と称している。このコトバでは、高校野球の女子マネージャーではなくて、激動する自動車業界におけるカーディーラーの店長がドラッグを読んだとしたら、自動車販売というビジネスにおいて何か役立つ知識や技術を身につけておきたいという前提に立って書かれたものである。

しかし、私もそうであったが、自動車ディーラーの店長・副店長は、日々多忙であり、また販売目標必達へのプレッシャーから、厚いドラッグの書籍を細かく心のゆとりもなく、読書する時間もないかなと取捨選択することができないのが現状である。そこで、自動車業界の管理監督者の皆様にお役に立つ情報を提供したいという気持ちで、以前から日刊自動車新聞から管理監督者向けの原稿を投稿して欲しいという要望もあったため、今回このコラムの執筆に取り掛かることにした。

「親」と称している。このコトバでは、高校野球の女子マネージャーではなくて、激動する自動車業界におけるカーディーラーの店長がドラッグを読んだとしたら、自動車販売というビジネスにおいて何か役立つ知識や技術を身につけておきたいという前提に立って書かれたものである。

しかし、私もそうであったが、自動車ディーラーの店長・副店長は、日々多忙であり、また販売目標必達へのプレッシャーから、厚いドラッグの書籍を細かく心のゆとりもなく、読書する時間もないかなと取捨選択することができないのが現状である。そこで、自動車業界の管理監督者の皆様にお役に立つ情報を提供したいという気持ちで、以前から日刊自動車新聞から管理監督者向けの原稿を投稿して欲しいという要望もあったため、今回このコラムの執筆に取り掛かることにした。

カーディーラーの店長に読んでもらいたいドラッカー 連載に当たって

大内 一敏

大内 一敏氏(おおうちかずとし) スキル&モチベーション代表取締役トヨタ系出版社でセールスとしてトップクラスの成績を挙げ、販売マネージャー、人材開発室長などを歴任。トヨタ自動車インストラクターも務めた。

2005年に独立。自動車ディーラーを始め、全国地方自治体、民間企業、大学、病院等で年間2000日



程度、研修や講演を行っている。主な講演実績は、旭硝子・ヤクルト・NHK・セメチーテマは「マネジメント」リダーシップ「コーチング」「営業力強化」モチベーション向上「プレゼンテーション」「問題解決」「業務改善」「CS向上」「ホスピタリティ」など。

1958年生まれ、川崎出身。

「経営」か「管理」か? もうお分かりだろうか。「部下の仕事を経営する」という日本語はあるが、「部下の仕事を経営する」という使われ方はしない。同様に「赤字経営」「黒字経営」とはいうが「赤字管理」「黒字管理」という言葉はない。このことから管理の対象は「仕事」であり、経営の対象は「組織」つまりマネジメントは日々部下の「仕事を管理」しながら会社を「黒字経営」することで、カーディーラーという「組織」を「維持・存続・発展」させるためのスキルである。それが証拠にマネジメントが健全に機能しないという状況が。日本航空や北海道支店の経営破綻、ギリシャの経営危機からもわかるように、誰もが知っている巨大な組織、たとえ公的機関や国家であっても、しっかりマネジメント(経営・管理)をしていかないと、組織を維持・存続することができず、組織は破綻してしまうのである。

では、自動車業界は安泰なのだろうか。マネジメントは健全に機能しているのだろうか。

アメリカの雄GM(ゼネラル・モーターズ)が破綻する時代なのである。2011年4月の国内自動車販売を見て

も、自販連がまとめた除障市場の新車販売台数は前年同月比51%減の10万8824台で、下落幅は第一次石油危機の影響を受けた1974年5月の45・1%を遥か超え、単月過去最大の落ち込みであった。このように東日本大震災の影響など激動する自動車業界において経営破綻は対岸の火ではない。カーディーラーのマネジャー(管理監督者)は当事者意識と強い危機感を持って、しっかりとマネジメント(経営・管理)を行う必要があるのだ。

次回からは「ディーラーショップ」の多数の書籍の中から自動車業界のマネジャー(管理監督者・店長)に役立つ内容を厳選して引用し『マネジメント』に関連する記事をシリーズで提供したい。

往年の名車100台 22日にパレード

トヨタ博物館

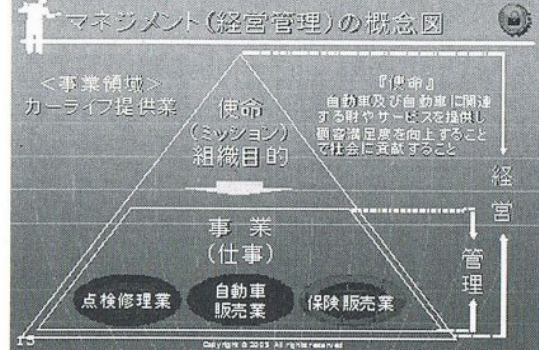


トヨタ自動車の文化施設であるトヨタ博物館(愛知県長久手町)では、5月22日に愛知県長久手町の愛・地球博記念公園(モリコロパーク)大芝生広場などで、「第22回クラシックカーフェスティバル」を開催する。

今年のフェスティバルでは、10年ぶりに愛・地球博記念公園内のパレードが復活するほか、トヨタ博物館が

| | |
|----------------------|------------------|
| 経営 (administration) | 管理 (control) |
| 経営の対象は組織 | 管理の対象は仕事 |
| 組織を存続・維持・発展させるためのスキル | 効率の高い仕事をするためのスキル |

マネジメントとは
経営資源を有効活用することで組織目的を達成するためのスキル



「組織」に必ずしも限らず現存する会社は必ず「組織」である。その組織の中で、組織構成員である社員が日々「仕事」しているのである。そこでマネジメントの対象を「組織」と「仕事」に区分して考えるのがやりやすいと思う。

①部下の仕事をする「仕事」。

②原材料の品質を「管理」。

③会社を「経営」。

④赤字

日産ラシーンのデザイン開発

前例のない開発手法に見る これからのモノ作り

坂口善英著

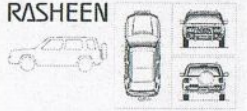
日産自動車の「ラシーン」という車を覚えているだろうか。「Be-1」や「パオ」「フィガロ」など、一連のバイクカー(尖った車)シリーズの一つとして1994年に発売され、女性をはじめ幅広く人気を呼んだ。

本格クロスカントリー車風の四角ばったデザインは、日本だけでなく欧州でも評価は高かった。生産終了から11年もたつのに中古車市場でいまだに高い人気を保っている。

ラシーンの基になったのは93年の東京モーターショーに参考出品した試作車で、会場で大変な好評を博した。だが開発現場では、

日産ラシーンのデザイン開発

開発されたバイクカー「ラシーン」の試作車は、このように尖っていた。



の自由度が飛躍的に高まる。全く新しいコンセプトの車が要求されるわけで、それにラシーンのコンシャ

所蔵するルースベルト元來本統領の専用車「バックカード」トゥエルブや「ダイハツミ



「炎のラジエーター」

「ドウラーJUG」(1924年型)

「彼はバカだ。僕ならのそばにいるの」とアドルフ(アイエン)・ハバラーはオチけてオンラインカー「ドウラーJUG」の助手席に座った歌シビル(アリス・クルジ)に声を掛け、お抱え恋人を待たせ